

議会だより さんのへ



Facebook



Twitter

第187号 (令和3年2月24日号)

P2 … 第492回定例会一般質問 (10議員)

P7 …… 第492回定例会議決結果一覧

P8 …………… 議員活動レポート

P10…………… ギインのすがお

◆第2回タブレット研修会

1月18日、2回目となるタブレット端末の操作に関する研修会を、ドコモショップ三戸バイパス店の協力により開催しました。

日ごろからスマートフォンやタブレット端末を使用している議員は、不慣れな議員のサポートに回り、前回のタブレット端末の基本操作に引き続き、今回はインターネットによる検索の方法や地図の使い方について学びました。



町民、各種
団体の皆さま
へのお願い

政治家はごく一部の例外を除き、お招きいただいた会合へ出席する際、ご祝儀をお渡しすることは公職選挙法違反となります。

飲食を伴う会合等の議員への案内状や招待状には、会費を明記していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

千葉 有子 議員



Q1 関根ふれあい公園
のトイレについて

関根ふれあい公園のトイレは、和式・くみ取り式で不便である。過去2回の質問には、公民館トイレの使用を促すという答弁だったが、観光客や住民の安心・安全のため洋式・水洗トイレにできないか。

A 松尾町長

ラッピングバスの展示で利用者の増加が見込まれるほか、衛生面、防災面にも配慮したトイレが必要のため、担当課へ調査を指示している。

再質問①

石像めぐりやラッピングバスなど、11ぴきのねこを目的に公園を訪れる方が多いが、ふるさと納税の11ぴきのねこのまちづくりコース寄付金は活用できないのか。

かったのか。

A まちづくり推進課長

11ぴきのねこを楽しむために町内外の方が訪れているのは承知しているが、新設に係る事業費が大きな額となったことから寄付金活用事業からは見送ったが、形態や規模の見直しを進め、予算内でよりよい形で実現できるように検討を進める。

Q2 子育て支援について

屋内の遊び場の要望に対し、令和元年12月定例会では「声が届いているが、どういった遊び場が望まれているか調査する」と答弁したが、進捗状況は。

A 松尾町長

現在、室内の遊び場設置に係るニーズの把握や経費の試算等を指示しており、慎重に検討する必要があると考えている。



アップルドームほのほの館

Q3 ふるさと納税の返
礼品について

①返礼品にシルバー人材センターによる墓の掃除、参拝等を採用することにより、町外在住者の安心や高齢者の活躍の場、自主財源の確保にも繋がると考えるが、町長の考えは。

A 松尾町長

今年度これを検討し協議したが、事業者側の体制が整わず、採用に至らなかった。またシルバー人材センターでは墓参りまでは予定していないとのことである。今後も事業者と協議を進める。

②特産品だけでなく、農業や観光を組み合わせた体験型、訪問型の返礼の採用により、交流関係人口の増加、移住促進に繋がると考えるが、町長の考えは。

A 松尾町長

寄附者のニーズに良質なサービスを提供できることが重要。今後事業者とサービス内容及び体制を協議したうえで、条件が整ったら採用していく。

※このほか「高齢者支援について」の質問を行いました。

栗谷川 柳子 議員



Q1 ふるさと納税の現
状と展望について

全国からのふるさと納税が好調で、2009年度は寄附件数4件、総額43万円強だったが、2019年度は2万1,709件、総額2億6,422万円と、10年間で件数で約5千倍、金額で約6百倍の増加は、担当課の企画・実行力の成果である。

寄附の際に選べる使い道6コースについて、2019年度の返礼品割合、寄附額、活用された事業、今後の計画は。

A 松尾町長

①11ぴきのねこのまちづくりコースは38・7%・1億2,400円でラッピングトレイン・バス運行、石像・街灯フラッグ設置、人形劇等に1,270万円充当。

②桜の名所「城山公園」整備コー

スは4・7%・1,239万円。清掃委託、案内板設置、売店撤去等に1千万円充当。

③果樹を中心とした特産品のブランド化推進コースは16・9%・4,454万円。スピードアップ事業、農林商工まつりへの補助等に1,170万円充当。

④小中一貫教育の環境整備コースは4・8%・1,256万円。教材備品購入、中体連等生徒派遣事業、小中一貫教育推進費等に2,030万円充当。

⑤三戸中央病院の医療体制の整備・充実コースは11・5%・3,051万円。病院会計繰出し金へ2千万円充当。

⑥子育てサポートの充実コースは23・5%・6,197万円。地域子育て支援拠点事業、子ども医療費、インフルエンザ予防接種などに1,500万円充当。

今後も寄附者への感謝をこめて基金に積み立て、特色のある魅力あるまちづくり推進のための財源として活用したい。



ポケットパークの石像

久慈 聡 議員



Q1 松尾町政2期目における、三戸復活に向けての重点事項について

2期目の町政を担う町長は、このコロナ禍、三戸復活に向け最初の1年で何を重要と考え実施するのか。また、これまでの施策から、次の3点について聞きます。

- ①三戸城跡の国の史跡指定後、城山公園を観光にどう結び付けるか。
- ②新型コロナウイルス第三波の中、これまで以上の感染拡大時の対策と支援。
- ③病後児保育の現状と今後。

A 松尾町長

1期目の成果を前進させ、内容の充実強化を図るため、「農工商・活力あふれるまちづくり」では、トップセールスに力を入れ、三戸ブランドの構築と農業

所得向上を目指す。「医療の行き届く福祉のまちづくり」では、さらなる医師確保、医療体制の充実化、三病の経営改善、健康のまちづくり事業の拡充を目指す。「歴史と文化・教育」のまちづくりでは、三戸城跡の国史跡指定を機に、城山公園の整備とあり方を、町民の意見を聞きながら方針を決めるほか、三戸

高校存続施策も継続する。
新たな地域課題として災害に強いまちづくりを進める。新型コロナウイルスに限らず、安全安心なまちづくりのための防災体制の構築を目指す。

①城山は、三戸城跡の国史跡指定を受け、法に基づく遺構等の標識看板設置や散策ルートの整備など、歴史的価値を周知する。また城山は憩いの場やイベント会場でもあり、これまでのイベントとの相乗効果を図る。

②関係機関との相互連携により円滑に対応できるよう新型コロナウイルスに係る行動計画を策定し、感染予防ガイドラインの周知にも取り組む。事業継続が求められる福祉施設には、事業継続計画（BCP）の作成を促したほか、町職員へは行動指針を示すとともに、感染時

等の対応マニュアルを策定・周知する。
③令和2年12月7日現在、利用登録児童数40名で、これまで2名の申込みがあり、1名が利用したほか、養育相談も1件あった。今後も利用しやすいよう民間保育施設と情報交換し、利用登録拡大につなげたい。



病後児保育施設「ジャブ」

再質問①

三戸の宝の山である城山への町民の思いを聞き、町政に生かすためにも、歴史、観光の垣根を越え、外部アドバイザーも入れた検討が必要と思うがどうか。

A 松尾町長

史跡に指定されたままではなく、城山の上で終結しない、人の流れ、ルートを町民とのワークシヨップなどで膨らませたい。

小笠原君男 議員



Q1 野生動物による町内の被害状況とその対策について

日本各地で野生動物による被害が報告されており、当町でも毎年被害が発生している。周辺町村ではイノシシ被害も発生し、当町に及ぶことが推測される。今後深刻な問題とならないよう、当町の状況と今後の対策について次のとおり伺います。

- ①野生動物の目撃及び被害の情報は何年何件あるか。
- ②被害が多い事例は。
- ③被害防止対策はあるか。
- ④防護柵、保護ネット等設置への助成等は考えているか。

A 松尾町長

①今年度、ツキノワグマやニホンジカ、ハクビシン等の目撃・被害報告が41件あり、昨年度比28件の増である。

②主にツキノワグマによる果樹やデントコーンの被害。

③三戸町有害鳥獣被害対策協議会が追い払いや捕獲に取り組んでいるほか、集落付近でツキノワグマの目撃があれば、警察のパトロールや防災無線での注意喚起を行っている。

④昨年度は野生イノシシによる豚舎への疫病持ち込み防止のための、侵入防止柵設置経費の一部を補助したほか、今年度から認定農業者へ③の協議会が防護柵への補助を行っている。集落の場合は中山間地域直接支払交付金も活用可能である。

再質問①

監視人員の手当てやけがの補償は十分か、また被害地には箱ワナを仕掛けることもあるが、どのぐらい設置されているか。

A 農林課長

鳥獣の追い払いや捕獲の隊員は町の非常勤特別職に位置付けられており、公務災害補償措置が受けられるほか、手当も月七千円を上限に支給している。箱ワナは5基所有し、必要な場所に設置している。

越後 貞男 議員



Q1 中山間地域総合整備事業について

農道整備等は中山間事業により行われているが、他町に比べ三戸町の農道整備はまだ十分な状況ではないと感じている。

町の基幹産業は農業であり、その基盤整備でもある農道整備について町長の考えを示していただきたい。

①中山間事業対象地区の選定基準は。また、農道以外の対象事業等事業の概要は。

②果樹地帯の農道整備が遅れている理由は何か。梅内地区では4ヶ所で測量が終わっているが、既に工事が入っている小中島地区以外の工事着工・完成予定はいつか。

A 松尾町長

①事業対象地区は、林野率が50%以上であること、主傾斜

率がおおむね100分の1以上の農地面積が全農地面積の50%以上の地域。農道整備以外には、農業用排水施設、圃場、農業集落道、営農飲雑用水施設、農業集落排水施設、地域農業活動拠点施設、交流施設基盤などの整備がある。

②農道整備の遅れは、用地買収が難航している場所があることや、国の予算配分が十分でないことなどによる。梅内地区

4か所のうち2か所は着工しており、残る2か所は用地交渉中で、契約等各種手続きが終われば着工される。完成予定は国や県も絡むので明確に示せないが、町ができることは迅速に進める。

再質問①

用地買収がうまくいかない場合は設計変更や強制執行もあるのか。

A 建設課長

どうしてもうまくいかない場合には、設計変更して事業を変更することもある。それともうまくいかないというのであれば、最初の場所の強制執行という強硬な手段をとっていくことになるが、本当の最終手段である。

藤原 文雄 議員



Q1 町のごみ排出量抑制について

本町のごみ排出量は減少傾向にあるが、1人当たりの排出量は、近隣に比べ多く、リサイクル率も低水準である。

いま一度、ごみ減量運動を盛り上げるべきと考えることから、以下について質問します。

①リサイクル率向上への現在の状況と課題、具体的方策。

②可燃ごみ減量に向けた具体的方策。

③町内会などの各団体設置の集積所と、個人設置のものの管理についての町の考え方。

A 松尾町長

①昨年度は「ごみダイエット作戦」と称し、ごみ減量化の講演や古着回収、アイディアコンテストなど実施した。今年度は三戸小4年生対象

のごみ減量出前講座や広報へのごみダイエット大作戦の記事掲載で意識啓発している。

リサイクルはビン専用コンテナの導入により約3倍の成果を上げた。

今後は資源物集団回収未実施の団体に参加を呼びかけ、リサイクルを推進する。

②家庭ごみの約5割が生ごみで、その8割が水分であることから、これを減らすために、子どもがいる世帯にごみの出し方のアンケート意識調査を行い、今後の対策に役立てる。

③ごみ集積場所やカゴについては、ごみを出す方や集積所利用者で維持管理されるものとする。

再質問①

ごみ減量にはリサイクルが早道と考える。

第5次総合振興計画では分別の種類を増やすことが示されているが、実現できるか。

A 住民福祉課長

現在のビン、ペットボトル、古紙の3種類にアルミ・スチール、布、プラスチックなど

想定しているが、今後環境整備事務組合構成町とクリーンセンターに申し入れ、協議する必要がある。

再質問②

可燃ごみの約半分が生ごみである中、数年前までコンポストの導入に対し補助があったはずだが、コンポスト処理がはたして有効かどうか、助成の仕方を伺います。

A 住民福祉課長

コンポストは、設置する庭や、肥料として使う畑がある方に限られるため、十数年前から助成していない。

その代わり、標語、アイディアコンテストの景品に生ごみドライヤーをお渡ししたり、クリーンセンターでは小学生の社会科見学の際に、生ごみの水分を絞る水切りキットをプレゼントしたりしている。



澤田 道憲 議員



Q1 町議会議員選挙について

3月の町議会選挙後、町民有志2団体から議長へ提出された公開質問状の内容は、選挙の不祥事とも読み取れ、町民に疑惑をもたれたことが残念であるが、町長はこの件をどう考えるか。

A 松尾町長

選挙の執行に関わる全ての者の法の順守は当然であり、今後も公平・公正な選挙が行われるよう啓発に努める。

Q2 人口減少と健全財政運営について

人口の減少により地方交付税や町民税等が減収し、さらには超高齢化時代で将来行政サービスが低下するのではと思いい次にについて伺います。

①人口減少対策と今後の取り組み。

②他市町居住の町職員へ、当町への転居のお願い。

③町内企業との連絡連携はあるか。

④財源の動向について。

⑤転入転出アンケート調査について。

A 松尾町長

①お試し暮らし住宅、移住定住促進事業補助金、お試しサテライトオフィスなどの施策

で人口減少が緩やかになっており、引き続きU・I・J・ターンの受入れを進める。

②居住地は憲法で自由が保障されているが、働きかけする。

③日ごろから行っており、必要に応じて訪問し、情報交換している。

④人口減と共に財源も減少傾向になるがサービス維持のため財政基盤の確保に努める。

⑤県からの委託で調査しており、昨年度の転入は95件、転出は154件であった。

Q3 農業の基本構想と重点事項について

本町の基幹産業である農業は担い手不足で、農業は自分の代

で終わりだという話をよく聞か、三戸農業の現状について伺います。

①農業経営体別の戸数は。

②農業従事者の年間所得は。

③集落農地の整備等について。

④新規就農期間終了後のフォローアップはあるか。

A 松尾町長

①総農家数728戸のうち販売農家631戸、うち専業318戸、兼業313戸。自給的農家97戸。

②平均世帯所得で550万円程度である。

③全耕地面積2500haのうち、中山間交付金と多面的機能交付金の対象農地866haの水路や農道の管理は、交付を受ける団体が側溝の泥上げや草刈りなどの整備を行っている。

④農業次世代人材投資資金の受給満了後3年間、就農状況を確認し、農業に関する研修等の情報を提供しているほか、本人も組合や部会で技術の習得に努めている。

柳 圭太 議員



Q1 三戸町地域包括支援センターの現状について

当町では、地域包括支援センターを開設し、高齢者の生活を総合的に支援している。

センターは疾病、老齢による機能低下、障害、認知症等、その他、多岐にわたる要因で、介護を要する方の相談窓口になっていることから以下について質問します。

①昨年、窓口で相談を受け、介護認定に結び付いた件数は。

②センターでは、介護予防または高齢者の生活環境を確認するような、訪問型調査をしているか。

③支援メニューの充実など、センターの機能拡大は。

④介護認定に関する相談及び

A 松尾町長

①介護認定に関する相談及び

申請のほか、認知症や病気の介護予防、虐待など計432件の相談のうち、6割が介護認定の相談・申請で263件、そのうち、認定に結び付いたのは225件あった。

②保健師が日々家庭訪問や健康づくり活動を通して把握に努めているほか、認知症対策のためアンケート調査を実施し、医療・介護に結び付けている。

③センターの認知度の向上及び高齢者のニーズ把握に努めるほか、職員の専門性を高め、相談体制の強化充実を図りたい。

再質問①

オレンジカフェなど、住民参加型の介護予防事業は認知症発見の取り組みのひとつであり、広く周知すべきと思うがどうか。

A 健康推進課長

認知症や介護が大変になる前に、そういった場に出向き、情報共有する。ひとりで苦しむいために大変重要な事業ととらえている。



佐々木和志 議員



Q1 公共交通の確保について

町内タクシー業者が、人手不足や収益性から、深夜早朝の営業を取りやめているのは、交通弱者には不安である。町は緊急時の交通手段の確保に取り組む考えはあるか。

A 松尾町長

病気の場合は救急搬送の要請となるが、このほかの事例について町公共交通会議で意見を伺うほか、タクシー事業者と協議をしたい。

Q2 インフルエンザ予防接種助成について

コロナ渦の中、近隣ではインフルエンザの予防接種の無料化を実施しており、当町でも高齢者、基礎疾患を持つ方、高校生以下は無料化すべきと考えるが

どうか。

A 松尾町長

今年度は、無料化した場合、優先的にワクチンが必要でない方の接種が増加することで、必要な方が接種できない懸念もあったため実施を見合わせた。今後も国や県の動向を注視する。

再質問①

隣町は無料で三戸は有料では、住民は医療格差ととらえ、今取り組む子育てしやすいまちづくりにも逆行することから、来年度は実施してほしいがどうか。

A 健康推進課長

新型コロナウイルスが収束しないなど色々な状況を的確にとらえ、接種の助成拡大も選択肢の一つとして検討したい。

Q3 観光振興について

①三戸城跡の国史跡指定の取り組みの中、町内観光資源の発掘やインフラ整備が必要である。また南部氏の歴史をテーマとした取り組みも検討すべきと思うが今後の取り組みは。

②観光振興や交流人口の増加には宿泊施設が不可欠であるが、町長は今後具体的に取り組む考えがあるか。

A 松尾町長

①歴史に関する講演会等を通じて、史跡価値の認識を深め、また町内外に発信するなど確実に取り組む。また、歴史ブームであることから、当町の歴史的資源を洗い出し効果的活用に取り組む。

②町も宿泊施設の設置は願っているが、持続可能な経営の観点から、専門業者による設置が望ましいと考える。

誘致実現のため大きな優遇措置を用意し、経営者の負担を軽くするなどし、関係者と情報交換していく。



歴史と観光両方の魅力を持つ城山公園

番屋 博光 議員



Q1 町のスポーツ関連施策について

①部活動がなくなった現在の小学校のスポーツ活動及び指導者の現状は。

②町の体育館、小中学校の体育館、その他スポーツ関連施設の利用状況は。

③総合型スポーツクラブと町体育協会の合併は考えているのか。また今後の三戸町のスポーツの発展についてどのような方向性を考えているか。

A 友田教育長

①保護者やスポーツクラブなど地域が主体となり、今年度10競技、140人の小学生が活動している。指導者は各協会と連携し51名が行っている。

②町民体育館はミニバス、バト

ン、ネオホッケー、バスケットボール協会が利用。

三戸小中第一体育館はバトン、ミニバス、バドミントン。第2体育館は中学校部活動。アップルドームは主に冬季にグラウンドゴルフ、ソフトテニス、サッカーの各協会、三高ソフトテニス部、スポーツクラブのサッカー。

勤労者体育センターは柔道、剣道協会が利用。

サンスポーツランド利用者は4、636人、パークゴルフ場は1万2、102人、町民プールは3、809人利用。

③両団体はそれぞれに町のスポーツ振興・発展に大きな役割を担っており、合併については両団体の意向を尊重する。

今後も地域のスポーツ環境の整備充実を図りながら、町民の関心を高め、スポーツ活動の振興と健康・体力の増進を図り、健康的な社会の実現とスポーツを通じて人づくり、まちづくりを推進する。



第492回定例会提出案件議決結果一覧

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
意見書案 第 4 号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書案 【概要】後期高齢者が必要な医療を受けられる機会を確保するため、窓口負担の現状維持の意見書を国へ提出するもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
意見書案 第 5 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書案 【概要】加齢性難聴者のうつや認知症を予防し、健康寿命延伸や医療費抑制を図るため、補聴器の購入への公的補助制度導入の意見書を国へ提出するもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 65 号	地方税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 【概要】延滞金等の算出に用いる「特例基準割合」の名称が細分化されるため、これを引用する条例も合わせて改正するもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 66 号	三戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】国の法律の一部改正により、条例内で引用する省令名の改正等必要な整備を行うもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 67 号	三戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案 【概要】個人所得課税の見直しによる国保税の負担水準に影響を生じさせないため、軽減判定所得の算定のための基礎控除額を33万円から43万円に引き上げるもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 68 号	土地改良(災害復旧)事業の施行について 【概要】令和2年7月11日、12日の大雨により被災した農地、農業用施設の復旧事業を施行するため議会の議決を求めるもの。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 69 号	三戸町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 【概要】任期満了を迎える委員の後任として、宇藤毅平氏を選任するため議会の同意を求めるもの。	12月15日	原案同意 (全会一致)
議案 第 70 号	令和2年度三戸町一般会計補正予算(第6号) 【概要】歳入歳出ともに2億5133万円を増額するもの。歳入は町税やふるさと納税寄附金の増額等、歳出は議場音響設備改修やふるさと納税事業の増額等。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 71 号	令和2年度三戸町営簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに32万2000円の減額。歳入は繰入金100万円の減額等、歳出は事務費37万円の減額等。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 72 号	令和2年度三戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに983万円の減額。歳入は繰入金1021万円の減額等、歳出は事務費838万円の減額等。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 73 号	令和2年度三戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに96万円の増額。歳入は繰越金31万円の減額等、歳出はシステム改修委託料96万円の増額等。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 74 号	令和2年度三戸町介護保険特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに3953万円の増額。歳入は繰越金3307万円の増額等、歳出は過年度負担金3537万円やシステム改修委託料283万円の増額等。	12月15日	原案可決 (全会一致)
議案 第 75 号	令和2年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算(第4号) 【概要】新型コロナによる患者の減による医業収益の減額や給与費の減額、医業収益減少の補てんのため特別減収対策企業債を追加するもの。収益的収入は8106万円の減額、収益的支出は7465万円の減額。資本的収入は9260万円の増額。	12月15日	原案可決 (全会一致)

議員活動レポート



総務文教常任委員会

山田 将之・千葉 有子
小笠原君男・越後 貞男
佐々木和志



【調査事項】

学校施設の管理運営状況について

10月30日、三戸小、斗川小、杉沢小、三戸中、杉沢中の管理運営状況等について、現地を訪問調査しました。

【調査結果・意見等】

運営及び整備状況はおおむね良好だが、児童生徒の安全のため早急に修繕等の対策が必要なもの、教育環境の整備に直接関わるものは、早急に対処すべきである。

民生商工常任委員会

藤原 文雄・栗谷川柳子
柳 隼 圭太・乗上 健夫
竹原 義人

【調査事項】

三戸町の農産物加工施設の運営状況について

10月23日、町内の農産物加工施設3か所を訪問し、管理者から運営状況等について伺いました。



【調査結果・意見等】

①三戸果汁生産組合

生産ラインはよいが、機械等全体的に老朽化が著しい。新しい施設ができれば今の施設を使用しない意向なので、それまで安全な利用を。

②三戸町農産物加工センター

多様な加工品を製造できる施設であるが、複数の部屋でくし餅を作っているため、整理すべき。多種の機械があり、新加工施設建設後も、個人等で引き続き使用できる。

③梅内町内会農産加工所

比較的新しい施設のため、動線がよく衛生的でまだ使える。利用する農家も動ける人が多い。

①③とおして

全施設機械が古く新しい施設が必要なのは確かだが、小規模加工施設も必要であり、町加工センターは個人利用のためにも残してはどうか。また、新しい施設は専属職員を置き、できるだけオートな施設で、か「SANNOWA」製品も作れるものにすべき。

建設農林常任委員会

久慈 聡・番屋 博光
和田 誠・澤田 道憲

【調査事項】

大雨災害復旧状況及び農作物の生育状況について

9月16日、農作物の生育状況と、7月12日の大雨で被害を受けた道路や田畑の被災状況について、現地訪問し調査しました。

【調査結果・意見等】

○大雨による災害復旧など、本委員



会が調査・要望した事項の対処状況について、速やかに報告を。

○リンゴの果実肥大は平年並みであり、順調な生育が見られた。

○桃園地のクマ被害について、農業者に事故がないよう引き続き注意喚起に努めていただきたい。また、頻繁に発生する場所については、効果的な被害対策の推進を検討すべき。

1月22日、町内の活性化するための諸問題を調査、研究する三戸町活性化対策特別委員会の役員会が開催され、栗谷川委員長が今年度の活動についてまとめた後、今後の活動について話し合いました。

今後については、今年度予定していた板柳ふるさとセンター果樹加工施設や、二戸市金田一地区で建設が進む宿泊施設等の視察が、新型コロナウイルスによりできなかったことから、状況を見な



三戸町活性化対策 特別委員会役員会

栗谷川 柳子・山田 将之
柳 雫 圭太・千葉 有子
久慈 聡・佐々木和志
竹原義人



・図書室だよりを9月、3月に発行すること

・議員の希望により購入した書籍については、議員がレポートを書き、他の議員へ紹介する

・新しく購入した本は多くの議員の目に入るように控室のテーブルに設置するなど工夫する

1月22日、議会図書室の運営を行う図書運営委員会が開催されました。会議では、今年度委員会で行ったこと、できなかったこと等を振り返りながら今後の委員会の進め方について話し合われました。決定事項は以下のとおりです。

図書運営委員会

千葉 有子・栗谷川 柳子
柳 雫 圭太・和田 誠
番屋 博光

がらなるべく早い時期に視察を実施することになりました。

また、城山公園の活用について、外部アドバイザーから参考意見を伺うことも合わせて決定しました。

1月22日、現在議会が取り組んでいる議会改革について協議するため、議会改革を所管する議会運営委員会が開催されました。

今回の会議では主に、大規模災害等が発生した際に、議会としてどのような対応・行動をし、そしてどのような役割を果たしていくのかといった行動指針となる「三戸町議会業務継続計画（BCP）」案の策定について承認したほか、議会で話し合われる案件である議案等を、議員間で意見を出し合い、理解を深める「議員間討議」を3月議会前に試験的に実施することなどが決定されました。

また、今後の議会改革の進め方の参考とするため、県内の議会改革先進地である六戸町議会を行政視察することも合わせて決定しました。



議会運営委員会

藤原 文雄・久慈 聡
柳 雫 圭太・山田 将之
栗谷川 柳子・千葉 有子

農業の勉強を始めました!!



やなぎしずく けいた
柳 零 圭太 議員

政治につながることを知ってほしいからです。

Q. いざ議員になってみて

毎日勉強することばかり。物を読む力、先輩方の意見を聞く力がすごく重要と感じています。

Q. 議員として

心がけていること

表現方法など、常に話し方に気を付けているつもりですが、まだまだ語彙力が足りないと感じています。

Q. 議員2年目を

迎えての抱負

1年目は右も左もわからず、いろいろな人に支えられ、本当に感謝しています。その感謝を忘れず、2年目も精一杯がんばりますのでどうぞご支援ください。

Q. 町の方々へひとこと

少しずつですが、町民の皆さんに顔を覚えていただいているのを感じます。町で会ったら、ぜひお気軽に声をおかけください。

Q. プロフィール

昭和62年生まれの33歳で独身です。三戸小、三戸中、三戸高校を経て八戸工業大学を卒業。その後一般企業に就職し、現在は議員が職業です。小学校から剣道を続け、高校の時にはインターハイに出場しました。

Q. 趣味

休みの日はインターネット動画をよく見えています。議会

第494回 三戸町議会定例会（3月議会）予定 ※全日午前10時開始

3月10日（水）	開会 町長による議案提案理由説明	3月14日（日）	休日のため休会
3月11日（木）	議案熟考のため休会	3月15日（月）	一般質問（予備日）、議案審議・採決
3月12日（金）	一般質問	3月16日（火）	予算特別委員会
3月13日（土）	休日のため休会	3月17日（水）	予算特別委員会、本会議、閉会

※傍聴はお申し込み不要です。お気軽にお越しください。

編集後記



年末からの大雪と極寒で迎えた令和3年、まだまだ寒い日が続いています。町民の皆さまには感染症予防対策とあわせて、体調管理に十分気を付けていただきたいと思います。

コロナ禍での自粛生活など、当面は厳しい状況が続くものと思われ、議員として非常に時にこそ皆さまの声をうかがい、行政に届ける責任を果たせるよう、創意工夫しながら取り組んでまいります。

また、有事対応のための議会版BCP（業務継続計画）策定など、不断の議会改革をすすめ、社会環境や生活様式が変化する中においても、議員及び議会としての役割を全うできるよう努めてまいりますので、今後とも議会へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

（藤原文雄）

三戸町議会広報編集委員会
委員長 山田 将之
副委員長 久慈 聡
委員 栗谷川 柳子
藤原 文雄
佐々木 和志
竹原 義人